

IPPS 日本支部 第 23 回高知大会終了の報告と御礼

拝啓 みなさまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびは、高知県高知市で国際植物増殖者会議日本支部大会を開催致しました。

高知県は坂本龍馬や植物学者牧野富太郎の誕生の地であり、四万十川や仁淀川をはじめとする清流や太平洋に面したダイナミックな自然が満喫できます。

また、全国的にも有名な鱧のタタキもご賞味いただけます。

高知県で初めての開催となります本大会は会員を中心に実行委員会を組織し、準備を進めて、一日目は特別講演 2 件、一般研究発表 8 件及び総会で構成し、

二日目の視察では高知市三里地区のグロリオサ生産地、高知県立牧野植物園、高知市春野の有限会社 見元園芸、安芸市の岡宗農園（メリーガーデン）を視察致しました。

高知県の花き生産は全国的にみると中位の産地ですが、その中身は実に個性的です。多くの方にご参加いただき、新たな出会いによる新たな情報交換の場となりました。

今大会に大変御協力していただきました関係者の皆さまに御礼と感謝を申し上げ、次回の沖縄大会にはまた皆様方とお会いできますことを楽しみにしております。

ありがとうございました。

平成 28 年 10 月 11 日

敬具

IPPS 日本支部第 23 回高知大会

実行委員長 島崎 一彦